関東地震90周年記念シンポジウム

～過去に学び、未来に備える～

参加費無料

●対象／社会人、学生（大学生・高校生）
●人数／事前申込 定員300名、当日申込 定員100名

日時　平成25年（2013年）
8月27日（火）13:25～17:00

場所　**東京都江戸東京博物館ホール**
（東京都墨田区横網1−4−1）

趣旨

関東地震発生から90周年を迎えた今、関東地震がどのような地震であったのか、なぜ東京で大きな災害となったのか、を最新の知見を交えつつ学ぶことは、来るべき首都圏直下の地震に備えるために重要である。また一昨年の東日本大震災においては東京湾沿岸も大きな災害に見舞われた。本シンポジウムでは、大都市の地震に対する脆弱性や問題点を明らかにすると共にそれを克服して地震災害を少しでも軽減するための知恵を探る。

プログラム

午前：関東大震災を歩く　定員20名

集合　8月27日（火）AM10:00　雨天決行
集合場所の詳細は別途通知

講師　武村 雅之 教授（名古屋大学）

ルート　JR両国駅を起点として、回向院を訪れ、次に横網町公園（被服廠跡）内の復興記念館などを見学し、昼前に現地にて解散予定。

参考文献：武村雅之著「関東大震災を歩く：現代に生きる災害の記憶」（吉川弘文館）

12:30	受付開始
13:25	開会
13:25–13:30	主催者挨拶　日本地震学会　会長　加藤 照之
第一部	**基調講演**
13:30–14:30	**関東地震のメカニズムと災害** 武村 雅之（名古屋大学）
	休憩
第二部	**講演会及びパネルディスカッション**
14:50–15:15	**関東地震と都市火災について**……廣井　悠（名古屋大学）
15:15–15:40	**関東大震災と東日本大震災における液状化被害の比較**……安田　進（東京電機大学）
15:40–16:05	**首都圏直下地震の想定と東京都の防災対策**……村山　隆（東京都総務局）
16:05–16:20	**首都圏直下地震と報道対応**……松本 浩司（NHK解説員）
16:25–16:55	**パネルディスカッション（講演者登壇）** 講演者のコメントと一般質疑
16:55–17:00	主催者挨拶　日本地震工学会　会長　安田　進
17:00	閉会

記念シンポジウムへの申し込み方法

①～②の項目を記入し、関東地震記念シンポ出席希望とお書き添えの上、地震学会事務局宛にメールまたはFaxでお申し込み下さい。

① 参加者名　② 連絡先のメールアドレスまたは電話番号

午前の部にも参加希望の方はその旨お知らせください。詳細についてはお申込みされた方に別途通知します。（先着順に20名で締め切りといたします）

申込先
公益社団法人　日本地震学会
〒113-0033
東京都文京区本郷6-26-12　東京RSビル8F
E-mail:kanto90@tokyo.email.ne.jp
TEL:03-5803-9570 FAX:03-5803-9577

■主催／日本地震学会、日本地震工学会、歴史地震研究会　■後援／東京都、墨田区、NHK

写真提供：国立科学博物館